

IELTS団体受験の案内

**大学が受験料*の一部
(15,380円) を補助します。**

(*受験料 1 回25,380円. 個人負担10,000円.)



海外留学や海外インターンシップに応募しようと思いついて、IELTSやTOEFLを受験しようと思っても、毎回2万円以上する受験料は、悩みの種。

外部試験で現在の英語力を測ってみたいくても、受験料が高すぎて気軽には受けられない。

そういう人たちに朗報！

団体受験の方法を大幅に変更します！

①教養学部生全員、総合文化研究科の院生も広く対象に！（3-4年生、PEAK生、大学院生に朗報）

②学生は1万円の個人負担。

③年間4回の試験日ごとに補助対象者の募集かけます。（これまでの年間有効資格から変更）

IELTSって何？

IELTS（アイエルツ）は、TOEFLと並んで、全世界で認められており、英語力測定の国際基準として扱われている試験です。イギリス、オーストラリア、欧州、北米の大学で広く利用されています。



IELTS団体受験の5つのメリット

① IELTS受験料が60%オフ！

②東京大学特別会場で一日で受験完了！（通常2日間）

③留学するときに英語力の証明書として使えます。（有効期限は2年）



④IELTSスコアが国家公務員試験の加点要件に！（通常有効期限2年のところ、本用途については有効期限5年）

⑤団体受験者専用のIELTS対策ワークショップに参加できます。

IELTS 団体受験募集要項

応募資格：東大教養学部1～4年生（含むPEAK生）および
総合文化研究科在籍者

募集期間：各試験日ごとに募集期間を設ける

募集人数：500名（本年度の合計。各回の割当は下記参照）

団体受験申込方法：説明会で発表。

応募条件：以下の条件すべてに同意すること。

- (1) IELTS団体受験に応募した受験日に専用会場で受験。
- (2) IELTS受験料（25,380円）のうち10,000円を学生が自己負担、残金の15,380円を大学が負担する。
- (3) 受験には、身分証明書としてパスポートが必須である。パスポートは申し込みの際に使用し、試験日当日に有効なものであること。パスポート未保持の者は自費で申請すること。
- (4) 「アカデミック」モジュールを選択すること。
- (5) 試験日決定後、2回以上受験日を変更する場合の変更手数料（6,300円）は学生が負担する。ただし、試験日5週間前の金曜午後5時以降の変更は不可。
- (6) 受験会場への交通費は学生が負担する。
- (7) 追加成績証明書が必要な場合は、それにかかる手数料（一通1,100円）は学生が負担する。
- (8) 受験結果がグローバルコミュニケーション研究センターに通知されることに同意し、また同センターでの教育開発、語学習熟に関する分析や研究に使用される可能性があることにも同意する。
- (9) 受験申込したにも関わらず、未受験だった者については、大学補助分（15,380円）の返金を求める。

各回の受験枠の割当（予定）

	1年生	2年生	3年生	4年生	PEAK	院生
第1回試験日 (9月10日)	30	30	14	14	6	6
第2回試験日 (10月22日)	45	45	21	21	9	9
第3回試験日 (11月5日)	45	45	21	21	9	9
第4回試験日 (12月10日)	30	30	14	14	6	6
合計	150	150	70	70	30	30

今年は試験日ごとに
受験者の募集かけます
(今年は4回)

第1回（9月10日） IELTS団体受験説明会

6月28日（火）

6月30日（木）

12:20-12:50 @1331 525

（説明会の参加申込不要）

第2回（10月22日） IELTS団体受験説明会

7月25日（月）

7月26日（火）

18:45-19:10 @1331 525

（説明会の参加申込不要）

第3回、第4回の
説明会日時は後日発表

☆TLP生は☆

別途説明会開催

詳しくはメールで！

IELTSの特徴は？

4技能(Listening, Speaking, Reading, Writing)をバランスよく測る外部試験。

TOEFLとの違いは？

スピーキングは、(TOEFLの様に)機械に吹き込むのではなく、試験官と直接話す。ほかの3技能は筆記試験を行います。

さらに詳しい情報は：

<http://www.eiken.or.jp/ielts/>
<http://www.ielts.org>

問い合わせ先：教養学部附属グローバル・コミュニケーション研究センター
メールアドレス ielts@cgcs.c.u-tokyo.ac.jp